

# 網張ビジターセンター ニュースレター



Vol.60  
2015.5

意外と派手な音で飛んでいます

春限定のホバリング！

amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori

\* 網張の森の生き物たち \*

amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori

## “ビロウドツリアブ” 春の舞

4月の急激な気温上昇で、いつもは緩やかにやってくるはずの春が猛烈なスピードで山を駆け上がってきたようなある日、この時期にだけ見られるビロウドツリアブに出会いました。だいたい低空飛行をしているので地面の上ではほとんど枯葉と同化してしまいます。ホバリングが得意で見下ろすと黒っぽく丸いモフモフの物体が宙に浮いているかのようです。時折上昇する時は「ハチが飛んで来た！」と勘違いしてしまう程の大きな翅音が聞かれます。すんぐりした見かけとはうらはらに素早く移動し、近づくとパッと視界から消えてしまいます。また、地面に下りる姿は「着陸成功！」と言いたくなるほど飛行機にそっくりです。上手に空中で静止しながら長い口吻でタンポポやスミシなどの蜜を吸い、花から花へと移動する姿はまさに春の舞。愛嬌たっぷりの姿に春の到来を感じました。

What is “Biroudotsuriabu” ?

「花の蜜を吸うアブ」

ツリアブ科

体長：8～12mm 前後

分布：日本全土

吸血性、肉食性などで知られるアブの仲間だが、成虫は雌雄共に花の蜜を吸う。特に産卵する雌はタンパク源を求め花粉も食べるとされる。幼虫は土中に巣を作るヒメハナバチ類などの幼虫に寄生する。網張で姿が見られるのは4-5月頃。

amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori amiharinomori





4番の標識付近は、ブナ・ミズナラ・ダケカンバ・カエデ類などの混合林と、丈の低い常緑低木が見られます。湯ノ沢分岐もすぐそこで、早春から夏にかけては雪どけの、勢い良く流れていく沢の音にも、耳を傾けてみてください。

# 網張の森 セルフガイド



## 常緑低木

新緑の影に隠れがちですが、緑の葉っぱをつけたまま、雪の中に埋もれて冬を越す、小さな植物たちがいます。

ハイヌツゲやハイヌガヤ・ヒメアオキ・エゾユズリハなどの常緑樹です。

彼らは、重たい雪に逆らうことなく体を低く柔軟にし、雪がとけるのをずっと待ち望んできました。

頭上の木々が葉を生い茂らせる前に、常緑低木は思いっきり日差しを浴び、花をつけ種を残す準備にとりかかります。



ハイヌツゲ



付近に架かる湯ノ沢橋



ハイヌガヤ



ヒメアオキ



エゾユズリハ

太陽の光があまり当たらない夏の間は、じっと我慢のつましやかな生活を送ります。

秋に落ち葉が林を覆う頃、彼らは「待ってました！」とばかりに背を伸ばし、葉をテカテカと光らせる事でしょう。しばしエネルギーを蓄えて、次の春まで深い眠りに着きます。

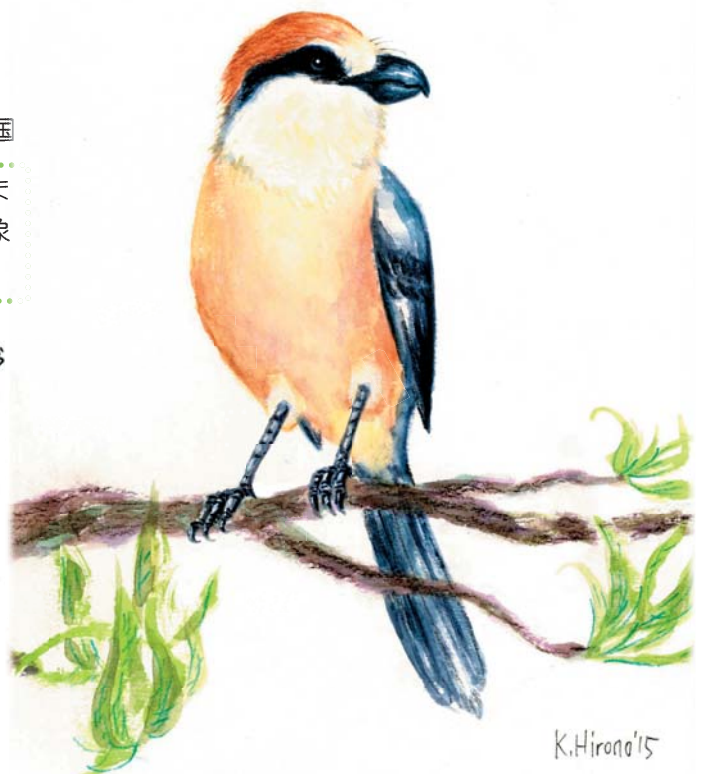
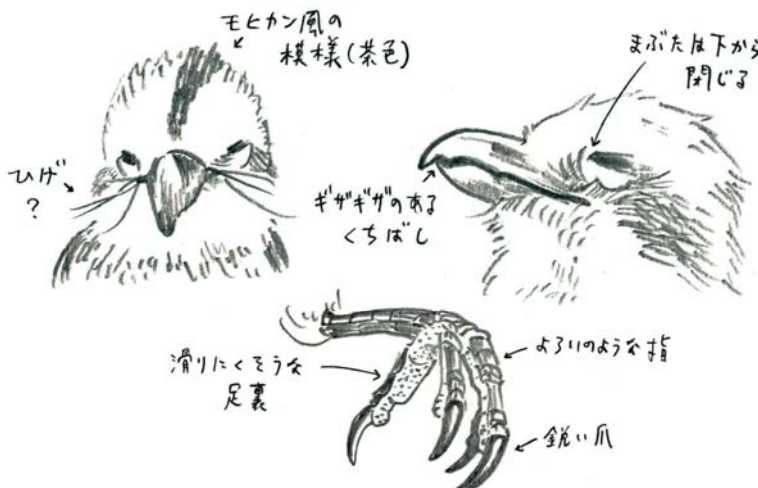
# AmiHARI birds

アミハリ・バーズ vol. 3

## モズ

科名:モズ科  
全長:約 20cm  
生態:留鳥  
分布:小笠原を除く全国

先日、交通事故死したモズを拾い、ビジターセンターで観察しました。間近でしか分からない特徴も多く、貴重な体験でした。印象に残った部分を記録したのでご覧ください。



K.Hirono'15



十和田八幡平国立公園の南端に位置し、古くから湯治場として、また岩手山の登山基地として栄えてきた網張近辺。今ではスキー場、ペンション、休暇村、ビジターセンターなど近代的な施設が整備され、四季を通して訪れる人達を迎えています。その反面、一昔前はどうかを知る人も、だんだん少なくなってきました。そこで網張ビジターセンターでは昔の様子を知る人を探し出し、お話を聞くプロジェクトが発足しました。

第一話・・・ 網張高原のペンション「山賊」オーナー鳥居義弘さんのお母さん、英子さんのお話・・・

「日が暮れると無性に悲しくなりました」

「昭和18年頃、小学校2年生で8歳の時、旧西山村の村長を務め、当時の網張温泉の経営者であった村上三郎氏の奥さんから遊びに来ないかと言われて網張に行ったのが最初です」。

「当時、町の中央から旧西山村の館にあった発電所のところまでバスが走っていてそこから狭い山道を、奥さんの弟たちに手を引かれて網張まで登ったのです。車が通るような道は無く、全て人が頼りでした。朝のバスで出て、網張に着いたのははっきりとした時間はわかりませんが、大分遅くなってからではなかったでしょうか。とにかく疲れて休み休み行ったのと、途中ところどころに、木の杭を打った階段があったことは覚えています」。

「当時の建物は木造平屋でしたが、看板にどのような名称が書かれていたかは覚えていません。部屋は個室もあったようだが、改装前の国見の石塚旅館のような感じでした。板張りで網戸なんかいないから、夜のランプの灯りに蛾がたくさん飛んできましたよ。おかみさんの弟、大久保栄二さんの奥さんが『いと子さん』と呼ばれていて実質女将のような役割をしていており、同じ部屋に泊まり面倒を見ていただきました。働いている人は、そんなに沢山いなかったような気がします。お客さんも地元の農家の人がほとんどで登山客の記憶はありません。自炊客が多かったのです」。「遊ぶつもりで行ったのですが、今から思えば口減らして出されたんでしょうね。しばらくの間は夏になると網張で過ごしました」。「その当時、今のような薬師社があったかどうか全く思い出せません」。「暇なときは、山菜を採ったりブラブラ遊んでいましたが、印象に残っているのが15～6個あったランプのホヤみがきが大変だった事、掃除や床みがきもやりました」。「宿の水運びをした記憶がないから、どこか近くの沢水を使っていたんでしょうね」。「食事は山菜と川魚中心でした。日が暮れてくると眼下に遠く、雫石の町（今のよしゃれ通り）の灯りがポツポツと見えてくるのです。そこに自分の家があると思う



娘時代の英子さん

と無性に悲しくて泣きたくなりました」。「内風呂がありました。露天風呂もあって、いつだったかそこにヘビが浮いていたのを覚えています」。「電気も無くラジオも無く、毎朝5時ごろには起き、夜は暗くなることも無いので早く寝ました」。「寂しい記憶ばかりで、その後、網張温泉に入りきたことはありません。来ると昔の気持ちを思い出すから網張にある息子のペンションにも泊まったことが無いのです」。(談)



英子さんは旧姓上野、昭和10年雫石町の中町の8人兄弟姉妹の2番目に生まれました。その後、盛岡市出身の教員、鳥居道弘氏と御結婚され、現在も雫石町にお住まいです。

環境省盛岡自然保護官事務所からの報告 自然保護官が替わりました！

4月から小笠原の後任として参りました河村俊彦と申します。日頃、十和田八幡平国立公園の環境保全へのご理解とご協力ありがとうございます。前任地の環境省中国四国地方環境事務所では瀬戸内海国立公園、大山隠岐国立公園の担当として国立公園の管理に勤めてまいりました。4月の転勤時には岡山、四国はちょうど桜が満開で、盛岡へ着任後の4月下旬から2週間ほど、内丸にある合庁周辺の櫻山神社や盛岡城跡公園、盛岡地裁前の石割櫻が見頃となりました。岩手山麓では雪解けが始まり自然の持つ生命力とすがすがしさを感じました。これから登山シーズンが始まり、また、地域のお祭りの季節がやってきます。岩手県の自然や文化にはとても興味を持っていますので業務に私事に活動していきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。



網張ビジターセンター

# 「ミニ企画」始めました!

5月は、「ちょっと森林浴散歩」  
「バードウォッチング」  
「解説員と回るワクワク館内ツアー」  
「早春の花スケッチに挑戦」  
など、盛りだくさん開催しています!



いずれも、10時から30分~1時間ほどの小さな催しです。開催日等、詳細はホームページやビジターセンター内のチラシ等でチェック! 予約なしの当日参加にも対応しますので、お気軽にお越しください。

『カタクリ』(参加者の作品より)

# 自然観察会報告

## 4月29日(水)「網張キーゲレテ 春の宝物探し」

・4歳から60代後半までの21名が参加。芽吹き始めた網張の森散策路の残雪の上で、女の子が丸くなって冬眠中の天然記念物「ワサ」を発見。子供たちは思わぬ“宝物”に大興奮でした。



## 5月6日(水)「鞍掛山・柳川群落と雪どけの滝」

・晴天の鞍掛山麓で柳川を始め多くの花やヒツジノケと出会いました。雪どけが早く滝は幻となってしまいましたが、途中の残雪や春紅葉を楽しみました。一般参加25名。



\*インフォメーションコーナー 詳しいお問い合わせは網張ビジターセンターまで

## 「初夏の七ツ森自然観察とスケッチ」

6月6日(土)

生森駐車場(国道46号線)集合  
9:30~15:00 定員10名  
講師 広野 孝男氏(岩手山地区PV)  
参加費大人500円 小学生300円



## 小岩井農場まきば園と盛岡市子ども科学館との連携行事 「夏の網張の森ヒメボタル観察会」

7月11日(土)~16日(木)

網張ビジターセンター集合  
19:30~20:40 定員20名  
参加費小学生以上300円



●現在開催中の網張ビジターセンター企画展 ●5月1日から6月30日までビジターセンター展示コーナーにて  
— 工藤 宏 写真展 —

# 「鞍掛山の花」



平成17年に「鞍掛山の花」の図鑑を出版して10年。鞍掛山に登山する人が大変多く、登山道が倍以上に広がり、道沿いに生えていた植物が無くなっています。(中略)今回改めて写真を撮り直し、簡単な説明を入れて「新・鞍掛山の花」として出版いたしました。出版にあわせて網張ビジターセンターで2年ぶりに写真展を開催することになりました。… (ご本人のあいさつより)



## モモンガのつぶやき

あまりにも暑かった4月の後半。例年だと5月の中旬に開花するテラス前のオオヤマザクラは4月30日に開花。4月中に開花したのは開館10年で初めての事です。背中を押されるようにして次々に開花し始める植物、さえずる野鳥や飛び回る虫たち。「この頃何だか変な天候ですね~」というのが挨拶代わりになりつつあります。自然の流れを妨げない生き方をしたいなあと思う今日この頃です。(佳)



## 十和田八幡平国立公園 網張ビジターセンター

来館者数 ◆3月 1,396人 ◆4月 1,300人  
朝9時のビジターセンター平均気温 ◆3月2.9℃ ◆4月3.9℃

発行 網張ビジターセンター運営協議会

〒020-0585 岩手県岩手郡雫石町長山小松倉1-2 (網張温泉)

TEL 019-693-3777 FAX 019-693-3778

URL <http://amihari17.ec-net.jp>

E-mail: [amihari@vanilla.ocn.ne.jp](mailto:amihari@vanilla.ocn.ne.jp)

開館 夏期(4月から10月末まで) 休館日なし 9時~17時